

第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1. 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和5年7月6日
作成担当部署 御杖村むらづくり振興課

2. 第三セクター等の概要

法人名 株式会社 みつえ
代表者名 安木 周一
所在地 奈良県宇陀郡御杖村大字神末6330
設立年月日 令和元年6月19日
資本金 21,000千円【当該地方公共団体の出資額(出資割合)21,000千円(100%)】
業務内容 道の駅「伊勢本街道御杖」、みつえ温泉「姫石の湯」、三季館(宿泊施設)
街道市場みつえ(農産物直売所)、みつえ青少年旅行村(キャンプ場)
の管理運営

3. 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

株式会社みつえは、道の駅「伊勢本街道御杖」、みつえ温泉「姫石の湯」、三季館(宿泊施設)、街道市場みつえ(農産物直売所)、みつえ青少年旅行村(キャンプ場)の管理運営を行う法人として御杖村が出資し、令和元年6月19日に設立された。

令和2年4月1日から指定管理制度により、道の駅「伊勢本街道御杖」等の管理運営を行っている。各施設については、観光、健康増進施設として地域住民はもとより村外からの観光客の方々まで幅広く利用されている。

しかし、経営状況については令和2年4～5月に発せられた新型コロナウイルス感染予防に係る緊急事態宣言を受け、道の駅関係施設の時短営業、キャンプ場、宿泊施設においては臨時休業を余儀なくされ、また道の駅で実施してきた各種イベントも中止となり観光客の誘客事業も実施できなかった。その結果令和2年度、3年度は大幅な売上減が生じた。コロナ禍が落ち着き始めた4年度においても全体の売上高は回復してきたものの円安やウクライナ情勢等に起因する諸物価の高騰の影響による支出増となり赤字経営の状態が続いている。

村では、会社内での労働環境の改善・改革の取り組み等の経営に積極的に介入し、令和3年度には新型コロナウイルス感染症対策に係る事業の持続・継続の為の補助金、翌4年度には原油価格・物価高騰対策に係る事業の持続・継続の為の補助金で支援し、令和5年度からはコロナ禍で経験したような施設を一定期間閉めざるを得ない事態が生じた時に経営を圧迫せず、適正な維持管理が行えるよう、温泉機械設備の保守点検や各施設の浄化槽管理については村が行い費用の負担を抑制していく。

4. 抜本的改革を含む経営健全化の取り組みに係る検討

コロナ禍が落ち着くにつれ会社全体の売上高は伸びてきてはいるが、販売費及び一般管理費が売上高を上回っており、経営の効率化が最大の課題である。

社員個々の意識改革を図りながら、支出経費の効率化を推し進め最大の目標である黒字化を図り、早期の債務超過解消を目指す。

5. 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

運営する温浴施設、宿泊施設、道の駅併設の直売所等は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、早期の利用客の回復は困難な状況は残ると思われるが、村は施設の維持管理に係る費用の負担を行い、固定費、変動費削減による損益分岐点の低減を実施し、法人は従業員の接客レベル向上を基本としたサービス力の向上等により効率を上げ早期の経営健全化を図る。

6. 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額（千円）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	資産総額	18,590	33,250	30,073
	（うち現預金）	3,677	17,303	13,373
	（うち売上債権）	249	2,297	2,568
	（うち棚卸資産）	1,603	1,801	1,860
	負債総額	27,373	54,664	59,184
	（うち当該地方公共団体からの借入金）	0	0	0
	純資産	-8,783	-21,414	-29,110

損益計算書から	項目	金額（千円）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	経常収益	89,599	118,076	131,437
	経常費用	135,776	155,322	163,301
	経常損益	-46,177	-37,245	-31,864
	経常外損益	16,512	24,614	24,168
	当期純損益	-29,665	-12,631	-7,696